

Taiwan

NSO National Symphony Orchestra
Japan Tour 2023

台湾 フィルハーモニック 2023日本公演

Philharmonic

東京公演

5.8 月 19:00開演(18:30開場)

東京オペラシティコンサートホール タケミツメモリアル

May 8, Monday, 19:00 (18:30 Doors open) @Tokyo Opera City Concert Hall: Takemitsu Memorial

プログラム

ドビュッシー:交響詩「海」
ブルッフ:スコットランド幻想曲 Op.46 *
ゴードン・チン(金希文):
ゴールデン・ビーム・オン・ザ・ホライズン・
オブ・フォルモサ(日出台湾) *
ベートーヴェン:合唱幻想曲 ハ短調 Op.80 ◇

出演

リチャード・リン(ヴァイオリン) *
福岡洸太郎(ピアノ) ◇
東京メトロポリタン合唱団 ◇/*
八角塔男声合唱団 ◇/*
(合唱指揮:松下耕) ◇/*
台湾フィルハーモニック
指揮:準・メルクル

Program

Debussy: La Mer
Bruch: Scottish Fantasy, Op.46 *
Gordon Chin:
Golden Beam on the Horizon of Formosa *
Beethoven: Choral Fantasy in C Minor, Op.80 ◇

Artists

Richard Lin, violinist *
Kotaro Fukuma, piano ◇
The Metropolitan Chorus of Tokyo ◇/*
The Octangle Male Choir ◇/*
Ko Matsushita, Chorus master ◇/*
Taiwan Philharmonic
Jun Märkl, conductor

台湾が世界に誇るトップ・オーケストラ、
新音楽監督 準・メルクルと共に、
待望の再来日！

チケット全席指定 S席 ¥8,000 A席 ¥6,000 B席 ¥4,000(税込)

主催・お問合せ:株式会社アスペン03-5467-0081/台湾フィルハーモニック 後援:台北駐日経済文化代表処・台湾文化センター 協力:東京メトロポリタン合唱団

プレイガイド:アスペン 03-5467-0081/e+(イープラス) <https://eplus.jp/> チケットぴあ <https://t.pia.jp/> 東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999(10:00-18:00月曜休み)

Instagramアカウント:taiwanphilharmonic LINEアカウント:Taiwan Philharmonic

※止むを得ず、公演の内容が一部変更になる場合がございます。 ※未就学のご入場はご遠慮ください。

台湾フィルハーモニック(國家交響樂團)

Taiwan Philharmonic (National Symphony Orchestra)

台湾フィルハーモニックは、1986年に設立された台湾の国立オーケストラとして名高い(台湾では「臺灣愛樂、國家交響樂團National Symphony Orchestra」の名称)。アジア諸国の中でも、最も優れたオーケストラの一つとして評価されている。2014年にはナショナル・パフォーミング・アーツ・センターのレジデント・オーケストラ&アーティストティック・アフィリエイトとなった。2008年から2010年までギュンター・ヘルビヒが芸術アドバイザー兼首席客演指揮者をつとめ、2010年8月から欧米で高い評価を得ているリュウ・シャオチャが第5代音楽監督をつとめ黄金時代を創り上げた。2021年からは準・メルクルが芸術顧問をつとめ、2022年より第6代音楽監督に就任、台湾の文化的豊かさと音楽教育の強化にさらに貢献している。



準・メルクル(指揮/台湾フィル音楽監督)

Jun Märkl, conductor / music director, Taiwan Philharmonic



1959年ミュンヘンで生まれ、ハノーファー音楽院でヴァイオリン、ピアノ、指揮を学んだ後、セルジュ・チェリビダッケらに学ぶ。ボストン響の奨学金を得てタングルウッド音楽祭に参加し、レナード・バーンスタイン、小澤征爾に学んだ。ヨーロッパの歌劇場での出演を重ね、ザールラント州立劇場(1991-94)、マンハイム国立劇場(1994-2000)の音楽監督を歴任。1993年にウィーン国立歌劇場、1996年に英国ロイヤル・オペラ・ハウス、99年にはメトロポリタン歌劇場にデビューするなど、次々とオペラ指揮者としてのキャリアを築いてきた。リオン管の音楽監督(2005-11)、ライブツィヒMDR響の首席指揮者(2012年まで)、バスク国立管の首席指揮者(2014-2016)を務めるなど、華やかなキャリアを築いている。2021年からマレーシア・フィルの音楽監督、台湾フィル(國家交響樂團NSO)の芸術顧問、ハーグ・レジデンティ管の首席客演指揮者をつとめ、2022年には台湾フィルの第6代音楽監督に就任した。日本ではN響のほか多くのオーケストラとの共演(新国立劇場含む)やウィーン国立歌劇場などとの来日公演で更に活動の幅を広げている。

福岡 洗太郎(ピアノ)

Kotaro Fukuma, piano



20歳でクリーヴランド国際コンクール日本人初優勝およびショパン賞受賞。パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学にて学ぶ。これまでにカーネギーホール、リンカーンセンター、サントリーホールなどでのリサイタルの他、クリーヴランド管、イスラエル・フィル、NHK交響楽団など著名オーケストラと多数共演。CDは「バッハ・ピアノ・トランスクリプションズ」(ナクソス)など、これまでに18枚をリリース。また、ラジオのパーソナリティや自身のYouTubeチャンネルでは、演奏動画、解説動画、ライブ配信などで幅広い世代から注目されている。多彩なレパートリーと表現力、コンセプチュアルなプログラム、また5か国語を操り国内外で活躍中。テレビ朝日系「徹子の部屋」や「題名のない音楽会」、NHK-TV「クラシック音楽館」などにも出演。第39回日本ショパン協会賞受賞。



東京メトロポリタン合唱団

The Metropolitan Chorus of Tokyo

作曲家・合唱指揮者松下 耕が音楽監督を務める合唱団の集合体(耕友会)のメンバーによる混声合唱団。これまでに、合唱祭やイベントへの参加、学校や福祉施設への訪問演奏、CD録音、海外における公演や交流活動などを行い、合唱文化の継承と保存、発展に貢献している。2015年より始まった「日本国際合唱作曲コンクール」では、毎年授賞式での世界初演を行っている。2022年10月には、世界を代表する、12の国・地域の16人の作曲家の新作を委嘱・初演する「松下耕と世界 ~今を生きる作曲家の群像」コンサートを東京オペラシティ・タケミツメモリアルにて行い、好評を博した。コンサートの前には全曲のレコーディングを行い、作曲者本人による解説を掲載したブックレットが付属するCDをリリースした。

リチャード・リン 林品任(ヴァイオリン)

Richard Lin, violin



1991年アリゾナ・フェニックス生まれ。台湾で育ち、4歳の時にヴァイオリンを学び始めた。カーティス音楽院にて、名教師アーロン・ローザンドに師事。現在、ジュリアード音楽院修士課程にてルイス・カプランに師事している。2013年第5回仙台国際音楽コンクールで優勝および聴衆賞を受賞。2018年9月、若手ヴァイオリニストの登竜門として世界にその名を知られる難関、第10回インドアナポリス国際ヴァイオリン・コンクールで優勝し、一躍世界の注目を浴びた。ソリストとして、これまでに台湾フィルのほか、仙台フィル、横浜シンフォニエッタなどと共演。また、台湾、日本やアメリカで、多くのソロ・リサイタルを開催。現在の使用楽器は、インドアナポリス国際ヴァイオリン・コンクールから貸与されたストラディヴァリウス「Ex-ギンゴールド」(1683年製)である。

松下 耕

Ko Matsushita, chorus master



1962年東京生まれ。作曲家、合唱指揮者。国立音楽大学作曲学科首席卒業。卒業後、ハンガリーに渡り、合唱指揮法及び作曲法を学ぶ。作曲家として生み出している作品は、世界各国で広く演奏されており、国内外の出版社数社より出版されている。指揮者としては、東京合唱アライアンス<耕友会>芸術総監督として13団体の指揮を務めており、各合唱団は精力的な活動を繰り広げ、ヨーロッパ、アジアの数々の国際合唱コンクールにおいてグランプリ等優秀な成績をあげている。2005年、国際的な賞であるロバートエドラー賞をアジア人として初めて受賞した。近年では、マレーシアで行われた国際コダーイ協会の世界大会で基調講演を務めた。一般社団法人東京国際合唱機構代表理事。イタリア合唱指揮者協会名誉会員。アジア合唱協会創設理事。東京都合唱連盟理事。日本作曲編曲家協会、国際コダーイ協会、日本合唱指揮者協会各会員。



八角塔男声合唱団

The Octangle Male Choir

2005年3月、キリスト教系である淡水中学校を卒業した生徒たちが、「淡水中学校卒業生四重唱」を発足させた。この合唱団は歌を通して神に仕え、母校と長老派教会に貢献することを旨とし、聖歌によって綴られる美しい物語を世界に広く響かせられるように活動している。2011年4月には、合唱団は男声合唱団へと再編成。その際に、1925年に建設された校内建築にちなんで、「八角塔合唱団」と名付けられた。八角塔合唱団は現在、教会など合唱を演奏する場で活躍している。近年、国家音楽庁はじめ、衛武營音楽庁など台湾各地にてコンサートを開催し、好評を博している。

兵庫公演

2023年5月6日(土) 14:00開演(13:30開場) 兵庫県立芸術文化センターKobelco 大ホール

詳しくはこちらをご覧ください → <https://www.aspen.jp>